

日本農業新聞

ヒヤリ・ハット9割

刈り払い機

久留米大
調査

トラクター4割

刈り払い機

刈り払い機を使う農家の割合、使用トラクターを扱う農家の4割が、事故に
なかりかからないヒヤリ・ハット体験をしていることが、久留米大学農学部(福岡
県久留米市)の調査で明らかになった。

と答えた農家が6割を超
え、農家の安全教育が不
十分だと指摘された。

刈り払い機の年間出荷
数は、トラクターの10倍
に上る約60万台。農家に
身近な農業機械だが、失
明などの傷害事故が最も
多く、危険度は高い。
ヒヤリ・ハット体験の
具体的な内容は、刈り払
い機が倒れるに当たって
て機械全体が跳ね上がる
「キックバックが起った」
が最も多く、62%に上
った。次は、刈り払い機
の「刃が空を切る音が
響く」(21%)や「刈り払い機
の刃が倒れる」(17%)など

日本農業新聞

農作業事故

農家の2割経験

原因不注意が大半

農家の2割程度は、農作業事故
が発生したことが5日、日本農業
新聞と九州大学大学院農学系研究
院が共同調査した共同調査で分か
った。事故の3分の2は農機が
原因だった。農家の安全意識にも問題があるこ
とが浮き彫りになった。

日本農業新聞
九大共同調査

「死亡か入院を伴う重症」と答え
た一方で、3割の農家が「特に対
害はしていない」と回答。農作業
に携わる各農家の危険意識を同時に、
農家の安全意識にも問題があるこ
とが浮き彫りになった。

調査は、日本農業新聞の読者ヒヤリ・ハットアンケート
の結果を基に実施された。



けた。
作業前に口頭で対策を
話し合う農家もいるが、
経営内で安全
対策を文書や
マニュアルの
ような形で情
報共有している回答は少
ない。「特に対策はして
いない」の30%は、農家
の多くが自らの経験と勘
だけで作業をしているこ
とがわかる可能性があるこ
とで、農家は農作業事故
が1番ダメージが大きい
と考えている。事故に遭
った場合の影響が「大」
が63%、「中」が26%だっ
た。ただし実際に農
場に遭う頻度は、
直面するリスク要因の
中で、農家は農作業事故
が63%、「中」が26%だっ
た。ただし実際に農
場に遭う頻度は、
直面するリスク要因の
中で、農家は農作業事故
が63%、「中」が26%だっ
た。

「軽視」の現実を反映して

あ対機を特 時 危 作認農 作緊て農 農

以経農自経病

多い転倒、巻き込み／経験、勘頼み実態

打撃

読むこともできそう
と考えている。事故に遭
った場合の影響が「大」
が63%、「中」が26%だっ
た。ただし実際に農
場に遭う頻度は、
直面するリスク要因の
中で、農家は農作業事故
が63%、「中」が26%だっ
た。

直面するリスク要因の
中で、農家は農作業事故
が63%、「中」が26%だっ
た。

直面するリスク要因の
中で、農家は農作業事故
が63%、「中」が26%だっ
た。

直面するリスク要因の
中で、農家は農作業事故
が63%、「中」が26%だっ
た。

給付事例に見る

牛に蹴られる、サイロに転落、足を滑らせる…

牧場に潜む思わぬ事故

規模拡大など順調に推
移してきた酪農経営であ
っても経営主や家族のケ
ガ、病気が原因で離脱に
つながる事例も少なくな
なっている。この中にも不慮

3月は酪農家戸数は2万
戸を切る可能性はある
が、離脱戸数は半減し同
600戸程度と見込まれ
ている。この中にも不慮

3月は酪農家戸数は2万
戸を切る可能性はある
が、離脱戸数は半減し同
600戸程度と見込まれ
ている。この中にも不慮

3月20日

規模拡大など順調に推
移してきた酪農経営であ
っても経営主や家族のケ
ガ、病気が原因で離脱に
つながる事例も少なくな
なっている。この中にも不慮

3月は酪農家戸数は2万
戸を切る可能性はある
が、離脱戸数は半減し同
600戸程度と見込まれ
ている。この中にも不慮

3月は酪農家戸数は2万
戸を切る可能性はある
が、離脱戸数は半減し同
600戸程度と見込まれ
ている。この中にも不慮

牛舎内外

農作業中の死亡事故発生状況

年		平成11	平成14	平成17	平成20
発生件数計		381	384	395	374
機械作業		284 (74.5%)	269 (70.1%)	263 (66.6%)	260 (69.5%)
施設作業		16 (4.2%)	17 (4.4%)	23 (5.8%)	17 (4.5%)
その他		81 (21.3%)	98 (25.5%)	109 (27.6%)	97 (25.9%)
性別	男	318	329	341	325
	女	63	55	53	49
うち65歳以上		257 (67.5%)	291 (75.8%)	298 (75.4%)	286 (79.1%)